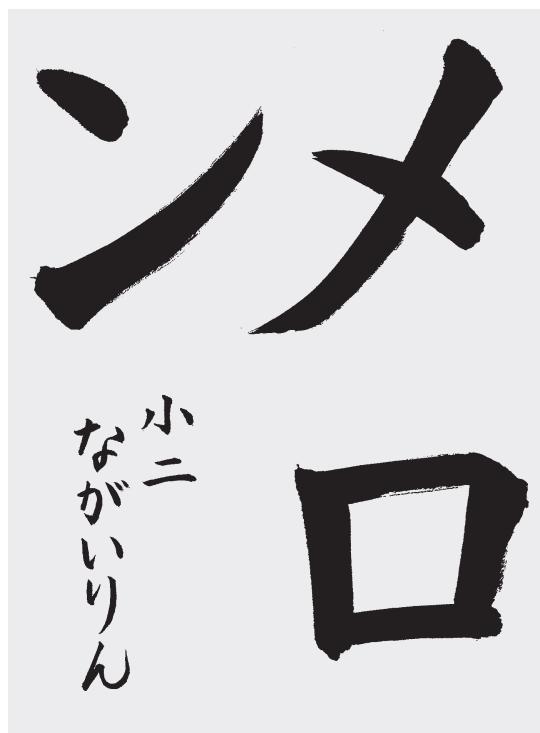


[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

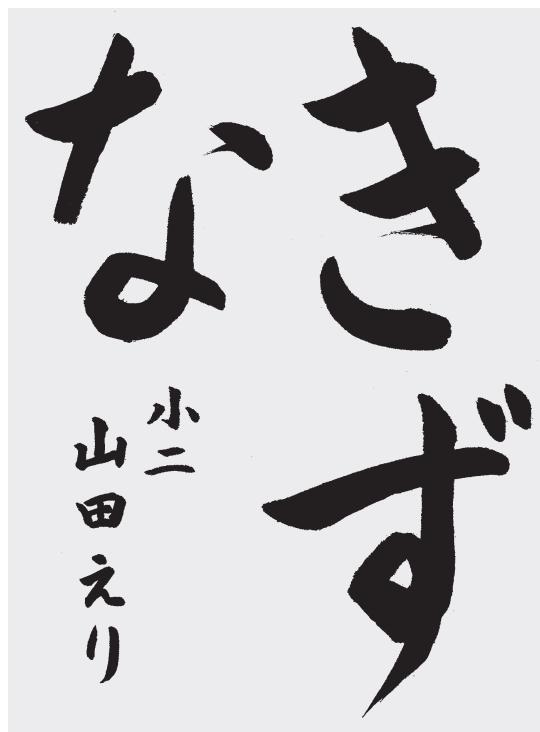


稻垣小燕先生

幼・小学1年参考手本



小林琴水先生



島田白露先生



田中扇溪先生

[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

成
長

小四山本和夫

片岡豪峰先生

小学3年参考手本

光

小三山本けい

倉林紅瑠先生

チワ
ンク

小四
長田圭一

白石和楓先生

文化

小三
田中裕司

山口仙草先生

[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

小六
鈴木文子
晚秋

小竹石雲先生

小学5年参考手本

小五
平和守
大使館

種谷萬城先生

小六
石井真志
貿易港

名越蒼竹先生

小五
種谷ゆうき
豊作

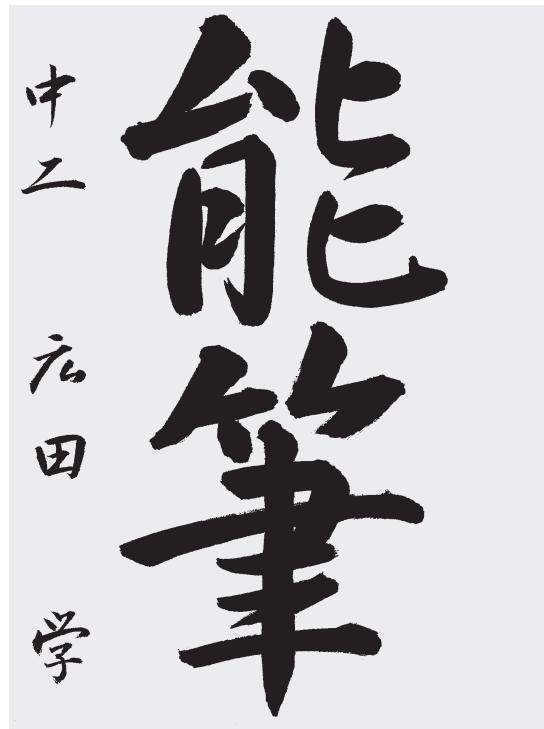
前田龍雲先生

[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

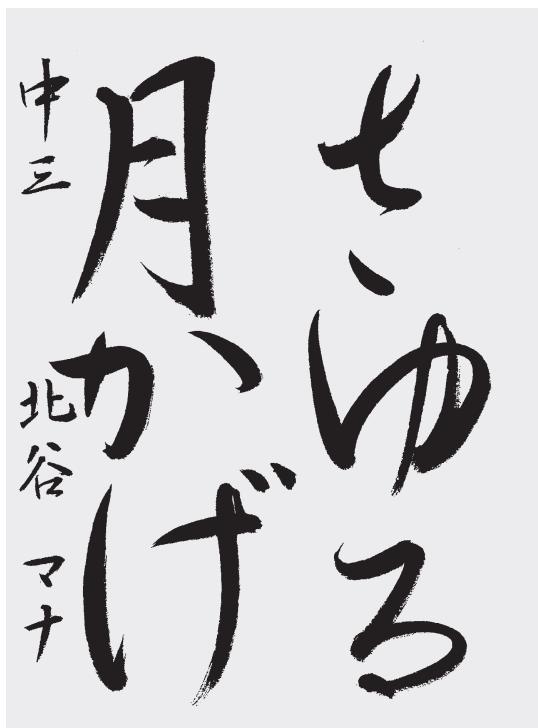
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



田村 鄭雲先生



広瀬舟雲先生



下谷洋子先生



辻元大雲先生

毛筆參考手本解說(2)

6
年

中
学

晚秋

下の横画と
ほぼ平行に
なるよう短
く払う

許容
公平無私

(意味)
私的な感情や
利害をはさまず
公平に判断すること

〈筆順〉

田の上下に余白ができるよう

貿易港

能筆

(楷) 能許容止め

曲がりの終筆が上にはねずに
止めて、左下への
はねに変化する

ふだん私たちは A の形で書いていますが、平安時代の仮名では B のように書くこともあります。

	A
	高二
	B
	高三 粘

〈古筆略号〉

さゆる（呀ゆる）
くつきりと澄む
はつきりと見える
つきかげ（月影）
月の形、月の姿

※次へつながる気持ち
月かげ

右払いが止み
ヌ 大

努力は
実る

(360)

書写教育

け	か	る	ゆ	さ	源字
計 け け	加 か か	留 る る	由 ゆ ゆ	左 そ そ	字形

[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

支部名	から	黒
段・級	広	い
学年	が	雲
二	つ	が
名前	て	、
谷山れん	き	西
	ま	の
	す	方

支部名	り	ま
だん・きゅう	し	た
がくねん	くわはら	。
一	そのか	。
なまえ		
くわはらそのか		



立て氣味に払う
立て氣味に払う
まげて止める



とめ

「雨」(あめ)と「云」(あめかんむり)の組み立て方



とめ

「里」(さんむり)と「あし」(あしこ)の組み立て方
をつけましょう。
れっかの方向に注意。



とめ

間かくにちゅうい

うちがわにむける

とめて、つぎへつなぐ

のびやかにはらう

じ

一 二 三 四 五 車

『じてんしゃ』
「はらい」をのびやかにかきましょう。

[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

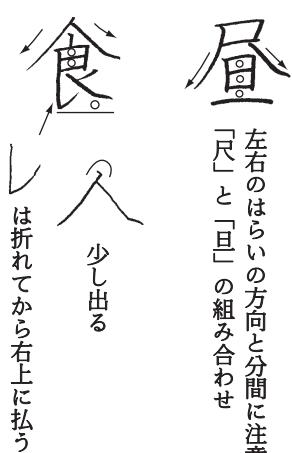
小学3年

支部名				
段・級				
学年				
四				
名前				
夕部 大典	に ジ ヤ ム を ぬ り ま し た。	食 を 作 る 日 で す。 パ ン	今 日 は 、 わ た し が 昼	

支部名			
段・級			
学年			
三			
名前			
西野 友広	は つ て あ り ま し た。	新 し い 学 級 新 聞 が	



「へん」小、「つくり」大
接する位置



漢字の字形をととのえて書きましょう。
「𠂇」と「𠂇」の組み合わせ

- 7 -



たて・よこの分間(画と画の間)を
整える。耳は中心に。
〈及〉の筆順

ノ乃及
一 門 門 門 門 門 閃 閃



「はらい」をていねいに書きましょう。
〈及〉の筆順



「つくり」を下げる
とめ

『学級新聞』
筆順や点画の長短に気をつけて書きましょう。

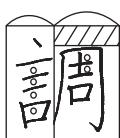
[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名				
段・級				
学年	六			
名前	松本 春樹			
パチスカーフ：推進力をもち深海を自由に動き回ることが可能な小型の深海探査艇	い 深 海 に も ぐ り ま す	力 フ は 、 光 の 届 か な	海底 調 査 用 の バ チ ス	

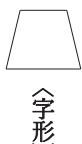
支部名				
段・級				
学年	五			
名前	田島 愛			
『日曜日』	ン ド で 友 達 と 二 人 、	球 の 練 習 を し ま し た 。	野 学 校 の グ ラ	



「へん」と「つくり」の組み合わせ
横分間に注意



三画目と七画目が左右
つりあうようだ



〈字形〉



折れの方向に注意



『海底調査』
字形を正しく、字配りよく書きましょう。
（筆順）
三画目と七画目が左右
つりあうようだ



玉（たまへん）を小さく「求」
を大きく組み合わせる。



空间を広く
一度上に
小さく止める



日（ひへん）を小さく「曜」を
大きく組み合わせる。

『日曜日』
漢字・ひらがな・カタカナを調和よく書きま
しょう。

[11月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

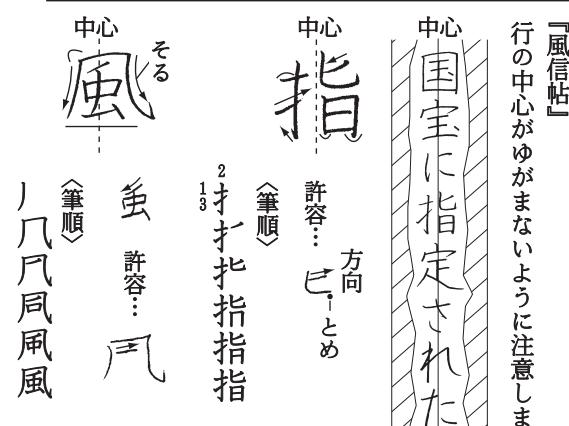
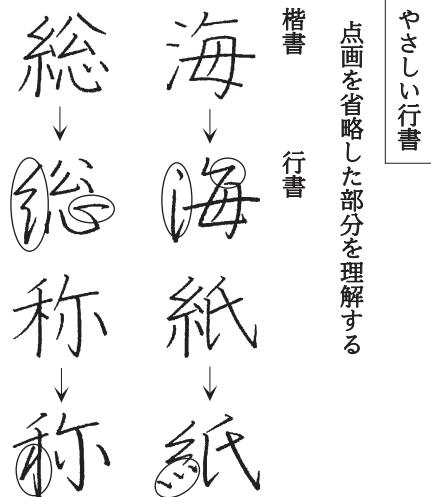
中学生(行書)

中学生(楷書)

*書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	国宝に指定された「風信帖」。
段・級	
学年	
中一	
名前	
西村華也子	

支部名	これは弘法大師・空海が最澄に送った三通の手紙の総称である。
段・級	
学年	
中一	
名前	
西村華也子	



これからのお作品締切日と課題

令和3年12月号～4年3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5	
経	を
を	感
集	し
中	か
さ	は
せ	だ
た	き
。大	者
な	か
角	の
に	気
神	配

幼・小1	
つけ	大き
まし	な木
た。	をみ

小 6	
れ	は
る	能
古	樂
典	の
的	舞
な	台
喜	げん
で	(
劇	演
だ	じ
。)	ら

中学生	
る	飛
よ	鳥
り、	は、
自	のど
転	かで
車	いい
が	ところ
い	。
か	も。

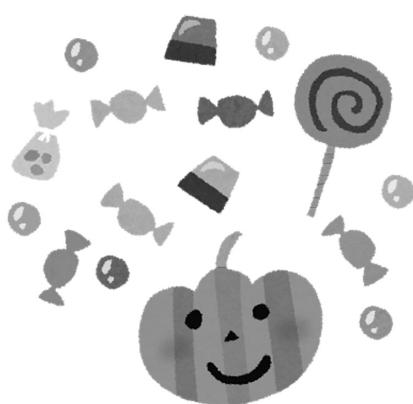
小 3	
白	坂
い	道
し	は
も	一
だ	面
つ	の
た。	真

小 4	
る	ん
か	な
を	会
考	話
え	持
て	文
読	は
も	、
う	だ
て	も
が	し
い	れ
。)	が

12月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・ 小 1	締切日
の 調 和 と の 自 然 と 電 波	雪 国	子 守 歌	注 文	冬 山	そ ば	も	12 月 6 日
も り 大 つ こ 理 想 実 現	武 道 館	師 走	絵 本	花 た ば	テ レ ビ	ゆ き	12 月
強 い 決 意	千 鳥	賀 正	お 年 玉	学 ぶ	て ま り	わ	1 月 10 日
ゆ き ぼ た ん 温 故 知 新	富 士 山 頂	計 画 案	新 年	元 日	カ ル タ	と ら	1 月
二 東 大 月 堂 寺	樹 氷	建 築	寒 風	立 春	豆 ま き	ソ リ	2 月 7 日
の い 宿 ゆ の い で ゆ	窓 の 景 色	月 面 着 陸	活 性 化	雪 原	外 国	あ られ	お に
字 源 辞 典	春 風	将 来	再 利 用	活 氣	生 き る	山	れ 3 月 7 日
春 の た たり も す の か たり	持 続 可 能	卒 業 写 真	伝 統	竹 馬	う ぐ い す	マ リ モ	な わ



書写を知り 学び楽しむ



廣瀨舟雲先生

講師の廣瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

① 方について述べます。

郵便番号を必ず記入し、宛先の住所は、市町村名から書く。2行以上なるときは区切りの良いところで行を変える。

② 宛名は封筒の中央に宛先の住所よりも大きめに書く。

③ 「様」を宛名よりも少しだけ大きめにする。

表書きをうまく書くためのポイント三つを記しました。
①については、都道府県名から書いた方がいいと記すものもあります。確かに丁寧かもしれません、現在では、省略して市町村名から書くことが一般的になっています。郵便番号が5桁から7桁になった時、郵便番号を正確に書けば、市町村名をも略して、町名から書いてよいというようになりました。しかし、この書き方はあまり普及していないようです。それは、「本町・北町・南町・新町」などというような町名が実に多くの市町村で用いられているからで、たとえば「本町一丁目二番三号」と記した場合、郵便番号の最初の3ケタの数字の一つをうっかり間違えてしまうと、まったく異なる別な市町村に届けられてしまい、その結果、当然ながら所在不明となってしまうからです。これを予防するためには、やはり市町村名から書いた方が郵便番号を万が一誤って記されていても仕分けをしているときにその誤りに気づき、訂正されて正しく配達してくださる可能性がとても高いからです。ですから市町村名から記した方が無難だといえましょう。番地は、漢数字でも算用数字で書いても結構です。いろいろな書き方がありますが、とにかく見やすくことが大切です。

ところで、今日では機器がめざましく進歩し、大きな集配局では「自動消印機」なるもので書状に消印が押されます。封筒が大きいものと厚いものだけ、人が「手押し」するそうです。消印が押された書状は次に「書状区分機」に運ばれます。この機器は、郵便番号だけではなく、今や書かれた住所と番地も瞬時に読み取れるそうです。番地が算用数字だけではなく漢数字で書かれていても即座に読み取れるようになります。この事でした。そして人間の目には見えないインクで各書状の表書きの部分に、読み取った宛先情報をバーコードにして瞬時に印刷していきます。これをまた次の機器で、自動的に読み取って、地域別に箱詰めされ、宛先近くの集配局へ輸送されるようになります。しかしながら、つづけ字・下手な文字等は読めないそうです。機器から読めないものとしてはじかれたものは局員の方々が再度、自身の眼と経験で読み、手入力してバーコードを付ける作業が必要との事でした。

活字で印字された宛名の郵便物がとても多くなりました。悲しいことに機器にとっては読みやすいので効率が上がりります。近い将来、機械化が大きく進み、人による区分け作業が無くなる可能性も…と予想されます。手書き文字の手紙は温かみがあつてとても貴重なものですので、していくことも判りました。そうしないと区分機からはじめられ、再度、手作業での区分けを待つ…という時間のロスが生じることとなるからです。

第56回 封筒の書き方⑧（表書き）

今月のホープ



どっしりと力強い筆使いの作品です。落ち着いた筆運びは、名前の書き方にも現れています。充実した安定作。

支部名	華芳
段・級	
学年	
中二	
氏名	高橋 葵

中国地方の山懷に抱かれた津和野は、山陰の小京都ともいわれる落ち着いた城下町である。

小六 川崎來実（堺支部）



小四 森澄紗和（八石支部）

本文2文字の配置が安定感抜群。基本点画がしっかりと安定した筆使いで立派です。字形も整い、雄大な作品です。

中二 高橋 葵（芳琴支部）

支部名	華芳
段・級	
学年	
五	
氏名	加藤心偉

学級新聞の題材として遠足と工場見学を特集しました。

小五 加藤心偉（華芳支部）

おだやかな文字が美しく流れる行書作品です。程よい余白が生かされて、明るい作品となりました。

シャープな線で、一画一画落ちついた書きぶり、ふところの広い美しい字形はさわやかで品格があり見事な作品です。

12月号毛筆参考手本（予告）12月6日締め切り分

幼・1年

ビテレ

小二
おがたがし

そば

小二
たがだわたらる

2年

ゆき

小一
ひづらほらぬつき

も

たまいそら

3年

絵本

小四
前田志保

注文

小四
三浦洋子

4年

ば花た

小三
石崎奏来

冬山

小三
仙石珠希

5年

館武道

小六
森山さち

雪国

小六
宮下郁子

6年

師走

小五
三浦洋子

歌子守

小五
池田綾子

中学

もり

中三
ゆ木まさき

自然と
の調和

中三
加藤陽菜

理想現実

中二
佐藤太一

電波

中一
真下香織

毛筆参考手本

○「〇〇の秋」…皆さんは何を思い浮かべるでしょうか？実りの秋、読書芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋…その他いろいろとあります。気候も過ごしやすくなつて、食べ物もおいしい時期。いろいろなことに打ち込めます。絶好の季節となりました。緊急事態宣言の延長で行動の制限などがあつたりしますが、ぜひ自分に合つた秋の楽しみ方を見つけしてください。

(葉扇)

○昇段級試験の書類がまもなく皆さんのお手元に届くと思ひます。今回、提出書類の書き方の見本を同封させていただきました。書き間違いのないようにお願ひいたします。また締め切りは10月5日（火）です。余裕を持って送つてくださいるよう重ねてお願ひいたします。